

今後の取り組み・スケジュールに対し提出のあった意見

① 基本的な考え方として

6月の報告書は推進会議としてどんな成果をあげたか、残った課題は何か、それを次の推進会議はどう検討していったらよいかの道筋をできる限り示して、町民に対して説明責任を果たすものであると思います。

残された期間もわずかとなりました。委員もベストをつくしますが、推進会議を支える事務局もこの点を自覚していただき、一層のご尽力をお願いします。

② 仕組みについて

第2期推進会議の提言を踏まえある程度仕組みを念頭におき、アンケート案を作成し、町民活動団体に対するアンケートを実施したところでもあり、また、委員もずっとこの問題を考えてきたと思います。

次期委員の変更もあるので状況を把握している現委員の方が議論をしやすいと思われ、またクロス集計結果が仕組構築上の必要条件かどうかも判然としないので、仕組みのイメージ位は発言できる委員もおられるのではないかと。

そこで、今度の推進会議で第2期推進会議から提言のあった仕組みについて議題とし、その後部会等で検討し、報告書に載せるべきである。

③ プロジェクトチームについて

推進会議にプロジェクトチームの設置は時間的に無理です。

2月の推進会議で審議し、部会で検討した方が効率的。昨年2月の中間報告書に記載されているプロジェクトチームの設置は協働担当が増員されないことを見こして、庁内関係課に仕組構築上で必要となる業務分担をしてもらったらどうかと提案したものです。

現に増員はなかったしアンケート結果からも調整作業をしなければならぬものも出てきていると思います。

④ 2月の推進会議について

・今度の会議は任期終盤の会議ということで大事な会議で議題も多く、効果的な議論ができるよう論点整理をよろしくお願ひしたいと思います。

・会長副会長あずかりとしたものは、速やかに結果とそうなった理由を送付していただき、その後の部会で議論できるようお願ひしたいと思います。

ただし、基本的に幹事会は議論し、方向を出し、推進会議にその結果を報告する場なので、あずかりは極力避けることが肝要と思います。

・幹事会で熟年パワーの研究部会メンバーに幹事がないことが問題となりましたが、部会で何が問題となっているかよく理解できませんでした。

今期の推進会議は、実質だれもが幹事扱いで会議に出席できるようにしているので、この点を事務局から説明していただきたい。

- ⑤ これまで未定稿で要約したものが発言者に送られ、言葉の重複などを直し、分かりやすくしているので、この慣例は尊重していただきたい。